

事業計画書

	事業名	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業							
	団体名	小金原みんなでわくわくする会							
事業概要									
老人から孫まで、四世代がより健康で安全・豊かな生活ができる居住環境を実現するため、小金原地区における地域活動を SDGs(Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」)の視点から再構成し、全世代参画のもとに助け合える魅力あるまちづくりの実現を目指す。									
取り組もうとする 松戸市のテーマ (課題)	小金原地区は、松戸市でも高齢化が進んでいる地域と言われており、若い世代へ街の魅力を十分に伝えられていないのが課題である。このままでは、「町内活動は高齢者がやるもの」というとらえ方で高齢化が益々進むと、現在の町内・地域活動すら提供できなくなってしまう可能性がある。								
事業の目的	四世代が、明るく健康で安全・豊かな生活ができる災害に強い居住環境を実現するため、従来からの地域活動を SDGs 活動の一環として整理・進化させ、世代相互の協力体制による「ありがとう！」のまちづくりを目指す。								
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>この2年間で、SDGs の勉強、及び SWOT(強み弱み)によるまちの分析を完了し、活動テーマを4項目に絞った。R5 年度内にその活動計画の策定を予定している。それを受け、R6 年度は、その具体的活動を段階的に推進、展開する。更に、四世代が一同に会す第2回四世代交流会を企画している。これらの活動は、SDGs17項目の目標を念頭とした市民活動として、町会活動とは違った双方向のコミュニケーションを基本とした能動的活動の姿を目指す。</p> <p>活動計画に当っては、案件ごとのリーダーを決め、予算を念頭に推進する。</p> <p>活動テーマと主な活動;</p> <ol style="list-style-type: none"> ① グリスロの活性化(SDGs 3,7,11) <ul style="list-style-type: none"> ・乗降ルール、路線図、時刻表の周知、回覧(R6/4~6) ・体験乗車と町会イベントでの活用(グランドゴルフ等)(通期) ② 高齢者支援(SDGs 3,11) <ul style="list-style-type: none"> ・エンディングノート勉強会の開催(小金原三丁目町会館)(R6/5) ③ 落ち葉の堆肥活用化(SDGs 7,11,15) <ul style="list-style-type: none"> ・公園他の落ち葉回収とコンポスト設置(公園使用許可申請相談) ・できた堆肥で、公園、ごみ箱に花のプランター設置 ④ 町会館(小金原三丁目町会館)の活用化(SDGs 3,4,11) <ul style="list-style-type: none"> ・町会在住の埋もれた特技の持ち主を登録して、サロン会を企画(R6/10) 生け花、花の育て方、郷土歴史、パソコン・携帯の使い方等 ・夏休み子ども宿題相談会(工作、作文、学科等) ⑤ 第2回四世代交流会(SDGs 3,5,11)(R6/7) <ul style="list-style-type: none"> ・音楽会および全世代が参画できるゲーム等を計画する <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2024/5</td> <td>・第9回 SDGs 活動会</td> <td>実施体制;会メンバー、講師</td> </tr> </tbody> </table>			実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	2024/5	・第9回 SDGs 活動会	実施体制;会メンバー、講師
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など							
2024/5	・第9回 SDGs 活動会	実施体制;会メンバー、講師							

		①～④のリーダー選定と各活動計画内容の確認及び共有 ②エンディングノート勉強会	江戸川大学 佐藤秀樹先生 対象;地域住民 場所;小金原三丁目町会館
	2024/6	‘⑤第2回四世代交流会準備・打合せ、③コンポスト設置	実施体制;会メンバー、 対象;(同上)、場所;(同上)
	2024/7	‘⑤第2回四世代交流会 音楽会と集い;入学祝、 成人祝、古希祝	実施体制;(同上及び町会)、 対象;(同上)、場所;みやお か幼稚園及びやまばと公園
	2024/8	・第10回SDGs活動会 4活動の進捗状況共有	実施体制;(同上)(講師)、 対象;(同上)、場所;町会館
	2024/8	④夏休み子ども宿題相談会	実施体制;(同上)、対象;(小 学生)場所;(同上)
	2024/10	・第11回SDGs活動会 ①グリスロ、②高齢者支援中間 成果発表会 ④サロン会開催	実施体制;(同上)(講師)、対 象;地域住民、場所;(同上)
	2025/1	・第12回SDGs活動会 ‘③落ち葉の堆肥化、 ‘④会館活用の中間成果発表	実施体制;(同上)(講師)、 対象;(同上)、場所;(同上)
	2025/ 1～3	・活動報告と見直し、とりまと め:チラシ作成・配布	実施体制;(同上)、対象;(同 上)、場所;(同上)
既存の事業から ステップアップす る部分(ステップ アップ助成のみ)	R5年までにSWOT分析から抽出した4項目の活動テーマを選定し、その活動計画を策定した。ステップアップとして、R6年度は、地域の市民参画を促進しながらその具体的活動を逐次推進していく。 推進に当たっては、テーマ毎のリーダーによる予算管理の下、推進する。		
事業の目標	1. 活動5テーマの周知;掲示板及び回覧板に掲載する。 ① グリスロ;町会イベント活用4回以上、②高齢者支援;エンディングノート勉強会参加者20名以上、③堆肥活用化;コンポストの製作と花の栽培、④町会館活用化;参加者延べ60名以上、⑤四世代交流会;参加者80名以上 2. 各テーマ活動員の確保;(4テーマ)×(リーダー2名)の8名を中心として、4回/年の各SDGs活動会に20名以上(10～80歳対象)の地域住民が参加する。 3. 具体的活動の実施;実施状況進捗の掲示板及び回覧板に掲載、活動計画の80%以上の達成を目指す。		
今後の展望	上記活動の継続定着化 ① グリスロ;地域行事活用を積極的に推進し、町内の病院の送迎バス等との相互乗り入れ可否検討 ② 高齢者支援;エンディングノート勉強会参加者との定期交流会開催 ③ 堆肥活用化;落ち葉の堆肥化により、やまばと公園およびごみ箱のプランターを花一杯にすると同時に、家庭の生ごみについても低減、コンポスト活用について方策を提言する。また、咲かせた花の維持、管理体制を確立する。 ④ 町会館活用;町会講座として定例化		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 55,764	事業費の一部を団体会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 55,764	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 249,876	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 305,640	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	SDGs外部講師謝礼 25,000円x4回	
	消耗品費		¥ 6,400	SDGs、SWOT 勉強会資料 用紙；1.1円 x 5P x 100セット x 2種 インク；2650円 x 2
			¥ 4,840	ブレインストーミング (SWOT分析で抽出した案件⇒SDGs活動テーマ) 模造紙；110円(4枚) x 10枚 マジック；110円 x 12本x2色 用紙；1.1円 x 1000枚
			¥ 104,500	コンポスト製作 サイズ：1800x1200x900H ブロック 1,200円 x (20個+12個x2) セメント袋(20kg) 1,800円x 6袋 鉄筋 (D19x1000) 850円 x 14 安全ポール 5,500円 チェーン 800円(2m) x 4個 コーン (ベッド付) 2100円x 4セット シート 2.7x3.6m 1,800円 帆布シート 2x2m 5,600円 こてセット他 4,500円
			¥ 7,200	ガーデン用具セット 3,600円 x 2セット
			¥ 15,000	チューリップ、水仙、他 球根：50円x 100個x 3種類
			¥ 5,600	プランター 400円x14個
			¥ 8,800	サポート支柱 880円(10本入)x10セット
			¥ 12,000	花壇柵用円弧ポール 1200円(4本入)x10セット
			¥ 3,300	エンディングノート 110円x30
		印刷製本費	¥ 10,000	・活動説明、活動成果 5円 x 1000枚x1回 チラシ印刷 20円 x 50枚x5回
		対象経費の合計 (D)		¥ 277,640
	その他経費	食糧費	¥ 28,000	勉強会・会合 100円 x 50人x4回 作業のお茶代 100円 x 10人x8回
その他経費の合計 (E)		¥ 28,000		
合計額 (F) = (D+E)		¥ 305,640		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。